

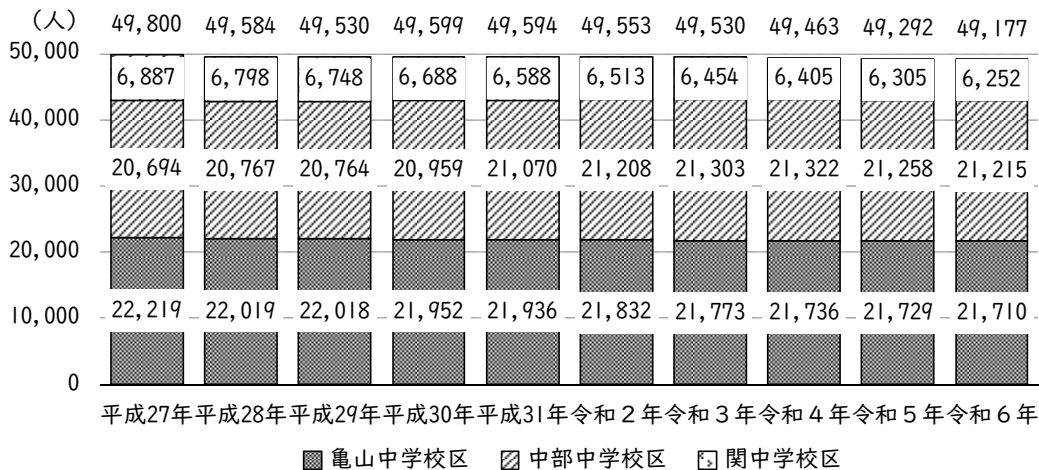
# 資料 亀山市の人口・世帯の状況

## (1) 人口の推移

### ① 総人口の推移

本市の総人口は、平成 27 年の 49,800 人以降、減少傾向が続いています。  
 地区別の人口は、平成 27 年と令和 6 年の比較でみると、亀山中学校区は 97.7%、  
 関中学校区は 90.8%と減少しているのに対し、中部中学校区は 102.5%と増加傾向に  
 あります。

### ◆ 亀山市の人口の推移



資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

### ② 年齢3区分別人口の推移

本市の年齢3区分別人口構成の推移をみると、15歳未満の年少人口と、15歳から  
 64歳までの生産年齢人口は、平成 27 年から令和 6 年まで毎年減少しており、年少  
 人口では 14.4%から 13.2%と 1.2 ポイント、生産年齢人口では 60.8%から 59.3%と 1.5  
 ポイント減となっています。一方、65歳以上の老年人口については、毎年増加が続  
 いており、平成 27 年の 24.8%から令和 6 年の 27.5%と 2.7 ポイント増加しています。

### ◆ 亀山市の人口構成の推移

| 年     | 年少人口 (15歳未満) | 生産年齢人口 (15~64歳) | 老年人口 (65歳以上) |
|-------|--------------|-----------------|--------------|
| 平成27年 | 14.4%        | 60.8%           | 24.8%        |
| 平成28年 | 14.4%        | 60.1%           | 25.5%        |
| 平成29年 | 14.2%        | 59.9%           | 25.9%        |
| 平成30年 | 14.1%        | 59.7%           | 26.2%        |
| 平成31年 | 14.1%        | 59.5%           | 26.4%        |
| 令和2年  | 14.0%        | 59.3%           | 26.7%        |
| 令和3年  | 13.9%        | 59.1%           | 27.0%        |
| 令和4年  | 13.8%        | 59.1%           | 27.1%        |
| 令和5年  | 13.4%        | 59.3%           | 27.3%        |
| 令和6年  | 13.2%        | 59.3%           | 27.5%        |

■ 年少人口 (15歳未満) □ 生産年齢人口 (15~64歳) □ 老年人口 (65歳以上)

資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

## (2) 出生数の推移

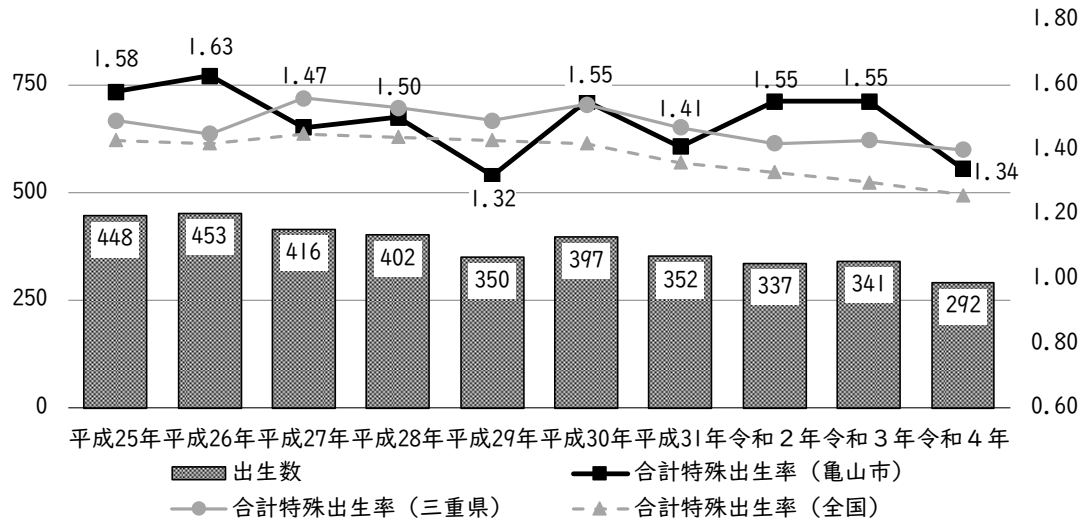
### ① 出生数と合計特殊出生率の推計

平成 25 年度からの 10 年間で本市の出生数は、平成 26 年度の 453 人がピークとなり、平成 30 年度にやや回復するものの、長期的には減少傾向となっています。

合計特殊出生率についても、出生数の回復期にある平成 26 年度の 1.63 をピークに、平成 30 年度、令和 2 年度～令和 3 年度にやや回復するものの、令和 4 年には下降しています。全国や三重県との比較でも大きな差はみられません。

### ◆ 亀山市の合計特殊出生率と出生数の推移

(人)



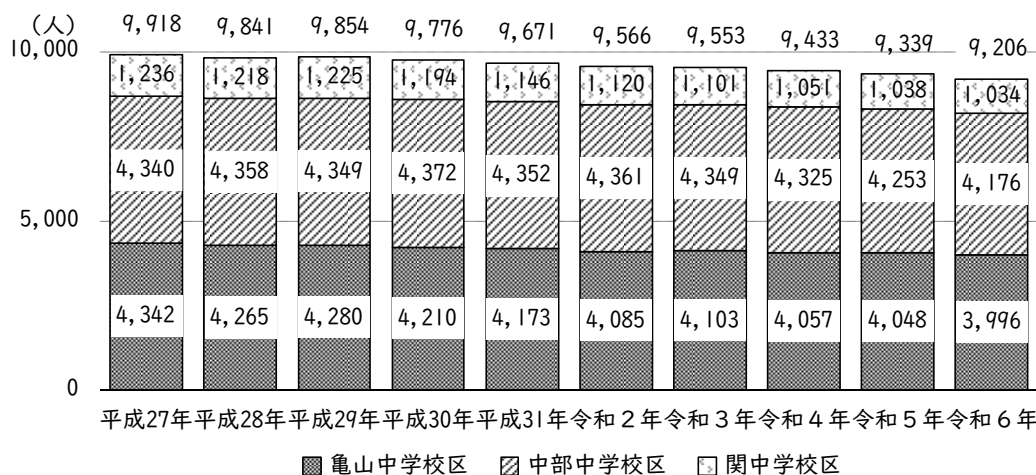
資料：人口動態統計・人口動態総覧

### ② 女性人口の推移

合計特殊出生率を算出する際の基礎数値となる 15～49 歳の女性人口の推移をみると、平成 27 年の 9,918 人から令和 6 年の 9,206 人まで、平成 29 年を除き減少し続けています。

中学校区別では、関中学校区では 16.3%、亀山中学校区では 8.0%の大幅な減少となっているのに対し、中部中学校区は 3.8%の微減となっており、地域間での人口推移の状況に違いが出ています。

### ◆ 亀山市の女性人口 (15～49 歳) の推移



資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

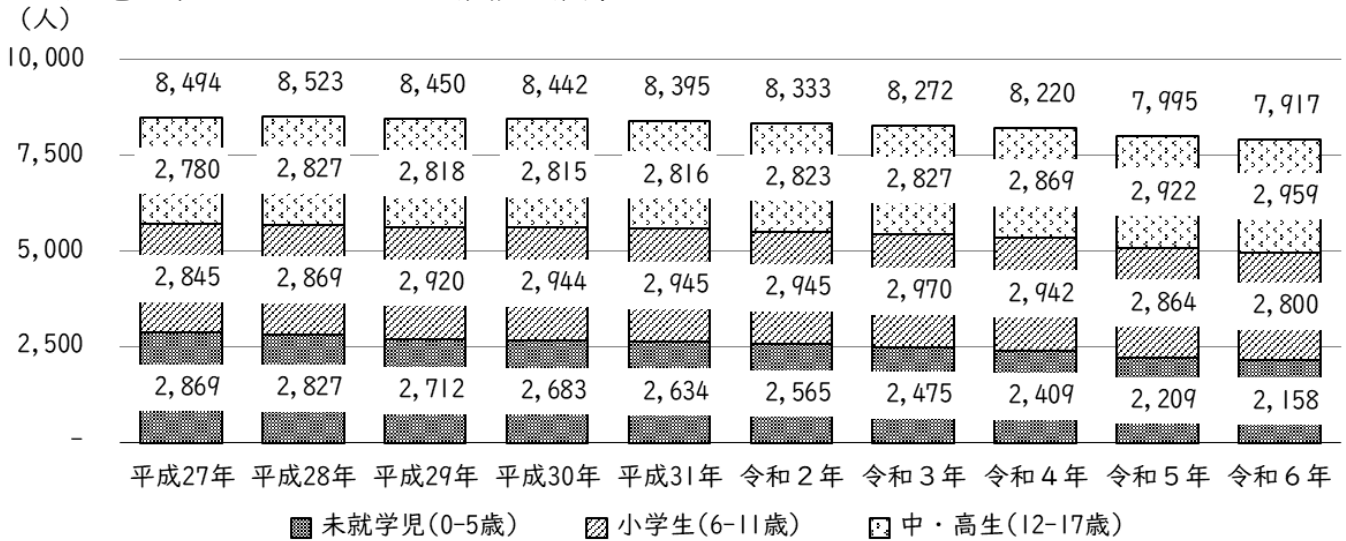
### (3) 子どもの人口の推移

#### ①子どもの人口の推移と推計

平成27年から令和6年までの推移をみると、子ども（18歳未満）の人口は横ばいだったものが、平成30年以降は減少傾向が強まっています。

一方、年齢層別の状況では、未就学児は平成27年に対し令和6年の値が約25%減と大きく減少しています。小学生は概ね横ばいとなっており、中・高生はやや増加傾向となっています。

#### ◆ 亀山市の子どもの人口の推移と推計



資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

#### ②地域別未就学児人口の推移

最近10年間の本市の地域別未就学児の人口は、平成27年の2,869人をピークに減少傾向となっています。

平成27年と令和6年の比較を地域別にみると、坂下地区以外はいずれも減少しています。中でも野登地区は50%以上、昼生地区と井田川地区、白川地区は30%以上、亀山地区と神辺地区、関地区、加太地区は20%以上の大幅な減少となっています。

#### ◆ 亀山市の未就学児人口の推移

(単位：人)

|       | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 平成31年 | 令和2年  | 令和3年  | 令和4年  | 令和5年  | 令和6年  | 増減率    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 亀山地区  | 930   | 945   | 930   | 929   | 902   | 856   | 832   | 792   | 762   | 732   | 78.7%  |
| 昼生地区  | 50    | 41    | 39    | 39    | 45    | 40    | 35    | 38    | 34    | 33    | 66.0%  |
| 井田川地区 | 844   | 843   | 804   | 788   | 774   | 744   | 726   | 697   | 629   | 581   | 68.8%  |
| 川崎地区  | 522   | 498   | 455   | 451   | 462   | 474   | 452   | 467   | 432   | 431   | 82.6%  |
| 野登地区  | 86    | 72    | 66    | 70    | 59    | 60    | 49    | 56    | 47    | 41    | 47.7%  |
| 白川地区  | 28    | 35    | 32    | 31    | 33    | 31    | 28    | 24    | 15    | 17    | 60.7%  |
| 神辺地区  | 147   | 151   | 140   | 135   | 122   | 117   | 120   | 108   | 85    | 111   | 75.5%  |
| 関地区   | 230   | 211   | 213   | 209   | 210   | 210   | 198   | 194   | 179   | 180   | 78.3%  |
| 坂下地区  | 4     | 5     | 6     | 5     | 5     | 6     | 8     | 9     | 9     | 11    | 275.0% |
| 加太地区  | 28    | 26    | 27    | 26    | 22    | 27    | 27    | 24    | 17    | 21    | 75.0%  |
| 合計    | 2,869 | 2,827 | 2,712 | 2,683 | 2,634 | 2,565 | 2,475 | 2,409 | 2,209 | 2,158 | 75.2%  |

※増減率は平成27年と令和6年の比較

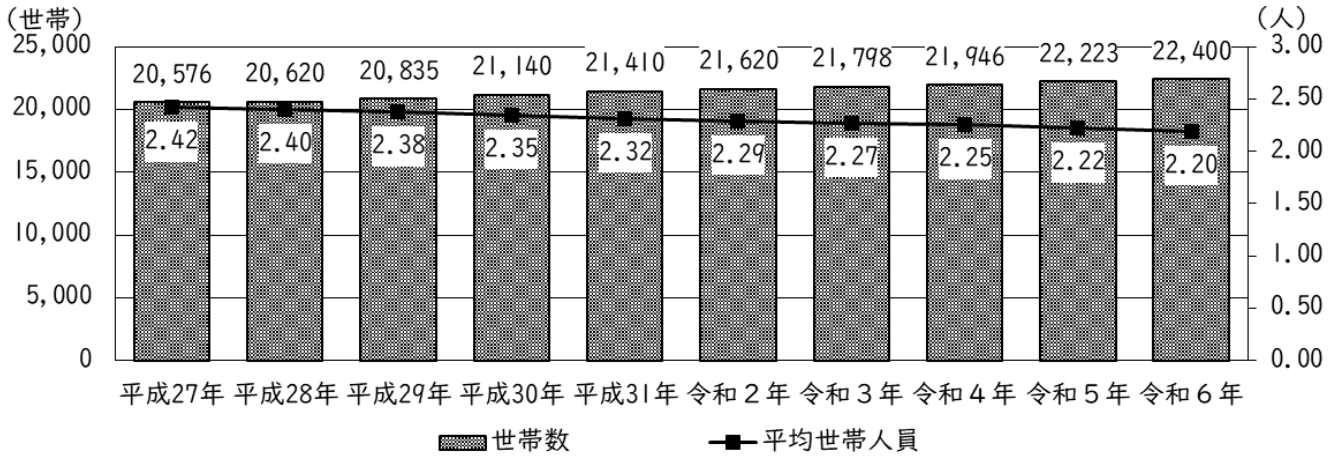
資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

## (4) 世帯の推移

### ① 世帯数と世帯の平均人数の推移

本市の世帯の状況を見ると、世帯数は増加し続けている一方、1世帯当たりの平均人員数は平成27年の2.42人から令和6年の2.20人まで減少し続けています。

#### ◆ 亀山市の世帯数と平均世帯人員数の推移



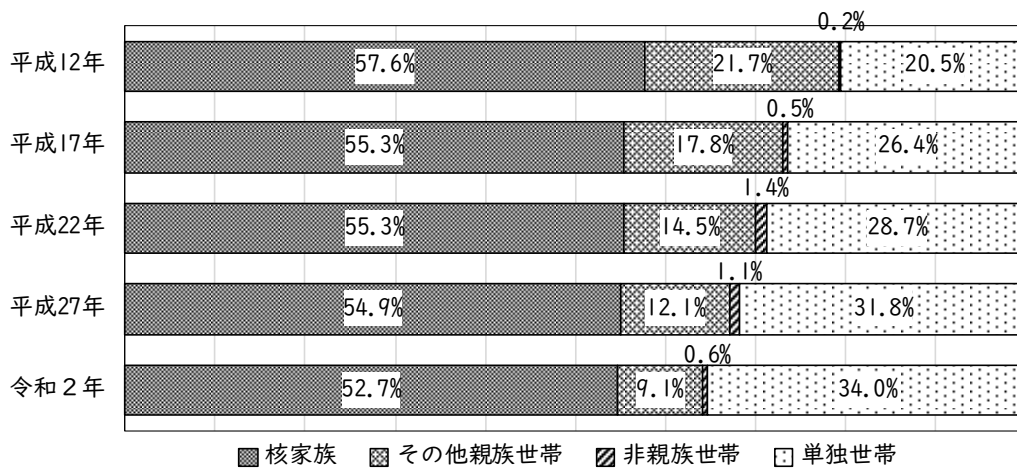
資料：住民基本台帳(各年4月1日現在)

### ② 世帯構成の推移

世帯構成の推移を見ると、構成比では、単独世帯は増加していますが、核家族世帯、その他親族世帯は減少しています。

一方、世帯数の実数で見ると、平成12年から令和2年にかけて核家族世帯が約2,000世帯、単独世帯が約4,000世帯と、それぞれ大幅に増加しています。

#### ◆ 亀山市の世帯構成の推移



(単位：世帯)

|         | 平成12年 | 平成17年 | 平成22年  | 平成27年  | 令和2年   |
|---------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 核家族世帯   | 8,893 | 9,849 | 10,624 | 10,913 | 10,846 |
| その他親族世帯 | 3,350 | 3,165 | 2,792  | 2,401  | 1,870  |
| 非親族世帯   | 31    | 87    | 264    | 223    | 125    |
| 単独世帯    | 3,166 | 4,709 | 5,515  | 6,313  | 7,005  |

資料：国勢調査

## (5) 就労の状況

### ①産業別就労人口

本市の産業別就業者数の推移をみると、男女ともに平成22年までは増加していますが、その後減少しています。男女別の就業率は、男性が概ね90%前後で推移しているのに対し、女性は平成27年以降増加しています。

また、産業別の状況をみると、男女ともに農林業などの第1次産業が最も少なく、減少傾向となっています。男性は製造業などの第2次産業が最も多く、概ね横ばいとなっています。一方、女性は第3次産業が最も多く、増加が続いていますが、第2次産業は減少傾向となっています。

### ◆ 産業別就労人口の推移

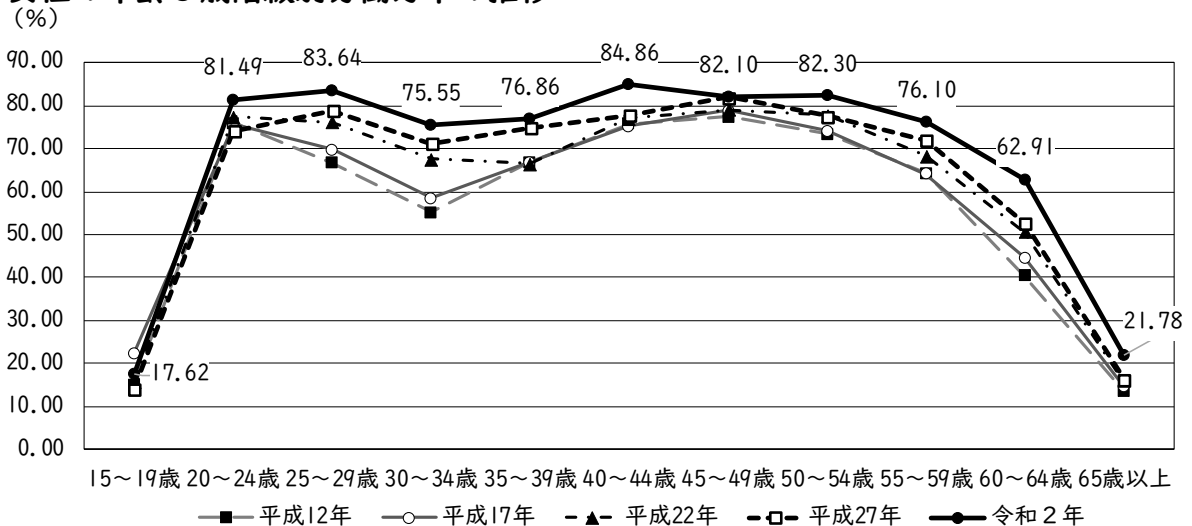
|           | 男性     |        |        |        | 女性     |        |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 平成17年  | 平成22年  | 平成27年  | 令和2年   | 平成17年  | 平成22年  | 平成27年  | 令和2年   |
| 年少人口(人)   | 3,571  | 3,757  | 3,570  | 3,516  | 3,307  | 3,554  | 3,444  | 3,263  |
| 生産年齢人口(人) | 16,820 | 17,028 | 15,707 | 15,649 | 15,493 | 15,372 | 14,376 | 13,962 |
| 老年人口(人)   | 4,265  | 4,812  | 5,555  | 5,996  | 5,797  | 6,145  | 6,885  | 7,449  |
| 就業者数(人)   | 15,257 | 14,964 | 14,142 | 13,631 | 10,383 | 10,297 | 10,192 | 10,335 |
| 就業率(%)    | 90.7%  | 87.9%  | 90.0%  | 87.1%  | 67.0%  | 67.0%  | 70.9%  | 74.0%  |
| 第1次産業(%)  | 4.1%   | 3.0%   | 3.2%   | 2.7%   | 3.6%   | 2.4%   | 2.6%   | 2.3%   |
| 第2次産業(%)  | 52.8%  | 49.1%  | 49.3%  | 51.0%  | 26.0%  | 22.4%  | 21.4%  | 20.9%  |
| 第3次産業(%)  | 41.1%  | 39.0%  | 42.4%  | 42.7%  | 68.5%  | 66.8%  | 71.4%  | 72.3%  |
| 分類不能(%)   | 2.1%   | 8.9%   | 5.1%   | 3.7%   | 1.9%   | 8.4%   | 4.6%   | 4.6%   |

資料：国勢調査

### ②女性の労働力率

本市の女性の年齢5歳階級別労働力率の推移をみると、平成12年は一般に言われる女性の結婚・出産に伴う就労率の低下状況を表すM字カーブが強く表れているのに対し、令和2年には30歳から34歳の年代のくぼみがほとんど見られない状況となっており、女性の就労意向が高まっていることが表れています。

### ◆ 女性の年齢5歳階級別労働力率の推移



資料：国勢調査

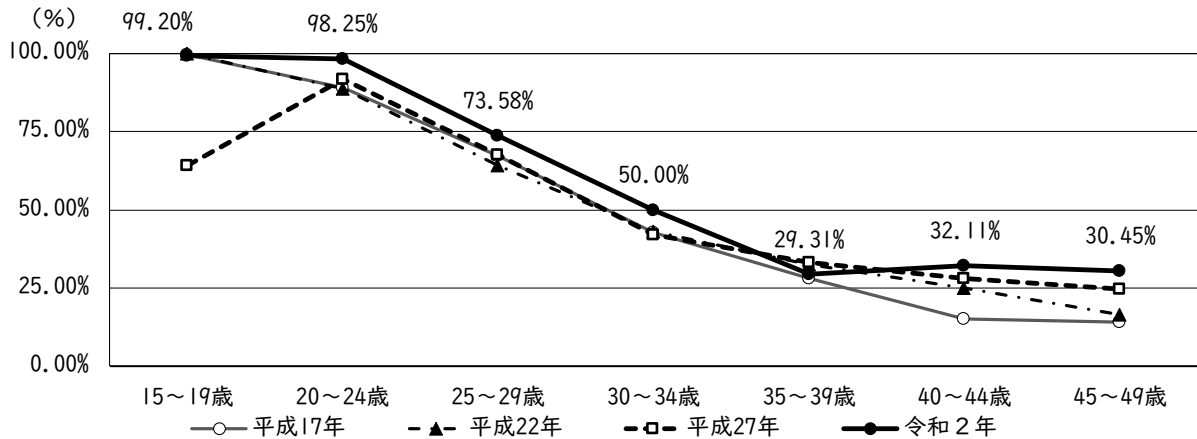
## (6) 婚姻・出産の状況

### ① 未婚率の推移

本市の男性の未婚率をみると、いずれの年代ともに増加傾向が続いており、生涯未婚率とされる45歳から49歳での未婚率が30.45%とおよそ3人に1人が未婚となっています。

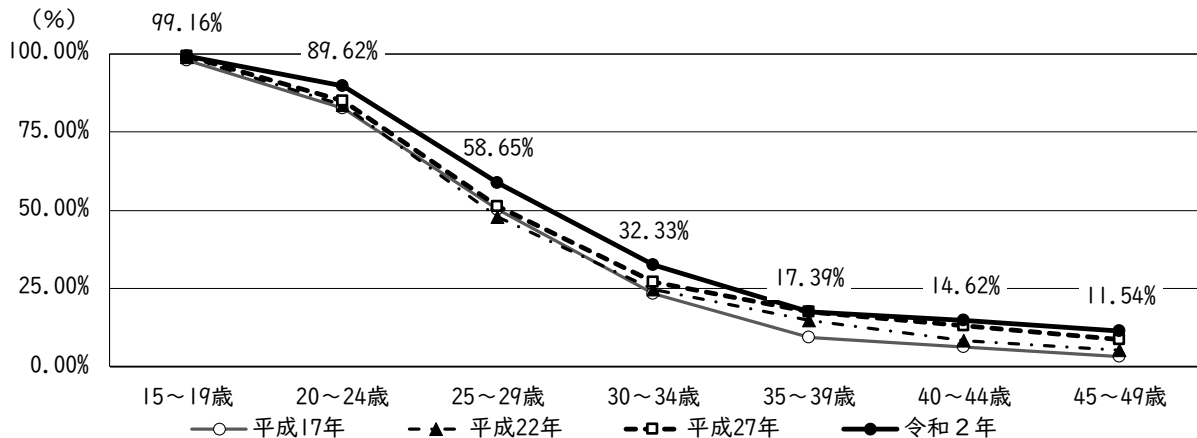
また、女性の未婚率は、全体的には男性よりも低いものの、男性同様に未婚率が上昇傾向となっています。生涯未婚率についても、平成17年の3.20%から令和2年の11.54%へ4倍近く高まっています。

### ◆ 男性未婚率の推移



資料：国勢調査

### ◆ 女性未婚率の推移



資料：国勢調査

|        | 男性     |        |        |        | 女性     |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 平成17年  | 平成22年  | 平成27年  | 令和2年   | 平成17年  | 平成22年  | 平成27年  | 令和2年   |
| 15~19歳 | 99.61% | 99.82% | 64.00% | 99.20% | 97.72% | 99.02% | 99.08% | 99.16% |
| 20~24歳 | 89.11% | 88.66% | 91.76% | 98.25% | 82.38% | 83.55% | 85.01% | 89.62% |
| 25~29歳 | 67.33% | 64.26% | 67.71% | 73.58% | 50.28% | 47.90% | 51.10% | 58.65% |
| 30~34歳 | 42.68% | 42.93% | 42.00% | 50.00% | 23.32% | 24.55% | 26.93% | 32.33% |
| 35~39歳 | 28.10% | 32.58% | 33.30% | 29.31% | 9.44%  | 14.90% | 17.50% | 17.39% |
| 40~44歳 | 15.08% | 24.93% | 28.20% | 32.11% | 6.11%  | 8.34%  | 12.97% | 14.62% |
| 45~49歳 | 14.01% | 16.58% | 24.73% | 30.45% | 3.20%  | 5.34%  | 8.70%  | 11.54% |